

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

## 寄地域の生活排水について



質問者  
廣瀬 幸男 議員

生活排水処理施設運営審議会の進捗状況を受けて、緑豊かな寄地域の環境を今後、どのように守る政策を次期町総合計画に盛り込むのか。

以上のことをお伺いたします。

**A** 答申時期  
大幅遅れる  
回答 (町長)



寄地域の生活排水については、生活排水処理施設運営審議会を立ち上げ、平成19年12月18日に第1回審議会を行い、第2回



寄中津川

審議会で「寄地区の生活排水の整備手法について」諮問した。その後、山梨県山梨市への先進地視察を含め、計5回の審議会を開催し、平成20年9月の国交省で作成された「効率的な汚水処理施設整備のための都道府県構想策定マニュアル(案)」の考え方を取り入れた方針変更により、答申時期が大幅に遅れた。この答申が、

寄地域の環境保全にかかわしいものであることを期待し、次期総合計画に反映させていく。

## 勤労者施策の充実を



質問者  
利根川 茂 議員

平成21年度一般会計当初予算での個人住民税は、7億4千万円が収入予定として計上されているが、内容は勤労者が多くを占めていると思います。

支出では、農水費に8千7百万円、商工観光費に1千万円が計上されていますが、勤労者には生活資金融資預託金5百万円が計上されているのみです。不況が続く中で、勤労者の派遣切りや再就職難が続いています。町当局におかれましては、非常勤職員への任用

や、生きがい事業団への就労指導、また、平成22年度予算での勤労者対策の充実を求めるものです。

**A** 現行の3施策を維持  
していきます  
回答 (町長)



①保健師、学校警備員、給食調理員、幼稚園バス入運転手等年間延べ1

10名の臨時職員を雇用している。特定な人に偏ることなく、広く採用し、より多くの方々に就労の機会を与えるよう配慮している。

②生きがい事業団の就労については、60歳以上で働く意欲のある人が登録し、現在、138名の方が就労している。登録は、町広報紙で随時行っているので希望者は申し込んでほしい。

③平成22年度予算で勤労者対策の充実は、現行の「住宅ローンの利子補給」、「中小企業に勤める人の退職金共済支援」、「勤労者生活資金融資事業」等、現行の3施策を堅持していく。



ハローワーク